

整理番号 2021M-041
補助事業名 2021年度 けいはんなビジネスメッセ開催事業 補助事業
補助事業者名 公益財団法人 関西文化学術研究都市推進機構

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

けいはんな地域における最先端の技術シーズやユニークな中小・ベンチャー企業の優れた技術をアピールする場を提供し、ニーズとのビジネスマッチングを推進し、ものづくり産業を中心に企業の活性化と新産業創出への取り組みを通して、けいはんな地域はもとより広く関西地域の産業振興に貢献する。

(2) 実施内容

「けいはんなビジネスメッセ2021Virtual」は、106の企業、大学、支援機関が出展したビジネスマッチング展示会。今回はコロナ禍で昨年が続いてのオンライン開催とし、京都府主催の「京都スマートシティエキスポ」、NICT主催の「けいはんなR&Dフェア」、ATR主催の「ATRオープンハウス」と同日に開催。ブース展示のほか31社による企業プレゼンテーション、特別講演会を併せて開催。

【けいはんなビジネスメッセ2021Virtual実施内容】

(URL) <http://khn-messe.jp/>

https://www.kri.or.jp/project/regional_Industry/messe/

① ビジネスマッチング展示会



② 企業プレゼンテーション



③ 特別講演会



2 予想される事業実施効果

今回は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、昨年に引き続いてのオンライン開催とし、来場者とのコミュニケーションツールについては、問合せフォームと名刺受を設置。けいはんな学研都市に立地又は関連する中小・ベンチャー企業や大学が持つ優れた技術シーズ、各社(研究機関・大学)の事業ニーズ、新製品等を、展示パネル・PR動画等を通じて、来場者に広くアピール、販路拡大や新事業創出を目指して活発な商談・情報交換が行われました。来場者については、約3割が近畿圏外からの来場、また約2割が時間外(17:00~10:00)の閲覧者であり、オンラインのメリットを活かせたと考えます。

また今年は京都スマートシティエキスポ、けいはんなR&Dフェア、ATRオープンハウスと同時開催にしたことにより、出展者・来場者が相互に会場を行き来しており、併催の相乗効果はあったものと考えられます。

本事業開催により実現した有効な商談・情報交換が今後進展し、企業の販路拡大や企業・大学との連携による異分野への進出、新事業への展開により企業活動が活発になることで新たな産業が創出されるなど、けいはんな学研都市はもとより、関西エリア全体の経済・産業活性化への波及効果が期待されます。

3 補助事業に係る成果物

【報告書：事業概要とアンケート結果報告】

https://khn-messe.jp/wp-content/themes/khn-messe/assets/pdf/khn-messe_visitor_2021_kekka.pdf



【けいはんなビジネスメッセ 2021 Virtual】事業概要・結果報告 目次

1. けいはんなビジネスメッセ 2021 Virtual の概要（開催テーマ）	3
2. けいはんなビジネスメッセ開催の経緯	4
3. けいはんなビジネスメッセのテーマ	6
4. 出席者数・来場者数	7
5. 開催内容	
5.1. エキスパート講演会	8
5.2. 出席者アンケート	9
6. 出席者アンケート集計結果	10
7. 出席者一覧	13
8. 講演会参加者リスト	16
9. 出席者数一覧	24

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名：公益財団法人 関西文化学術研究都市推進機構

(カンサイブンカガクジュツケンキュウトシスイシンキコウ)

住所：〒619-0237

京都府相楽郡精華町光台1-7 けいはんなプラザ ラボ棟3F

代表者：理事長 堀場 厚（ホリバ アツシ）

担当部署：新産業創出交流センター

担当者名：調査役 上田 隆之（ウエダ タカユキ）

電話番号：0774-98-2230

FAX：0774-98-2202

E-mail：t-ueda@kri.or.jp

URL：<https://www.kri.or.jp>